

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (四国)	◎	衣料品専門店（経営者）	・今はコロナ禍の影響で、乗客数、売上高共に悪い状況であるが、どの業種においても、もうすぐ回復してくると予想する。
	○	百貨店（企画担当）	・まん延防止等重点措置が解除となり、乗客数が若干戻ると思われるため、売上も少しは上向くと思う。
	○	百貨店（営業管理担当）	・ワクチン接種が進むことにより新規感染者数が減少し、徐々に規制が緩和されることで、人の動きが多少戻ってくることが予想される。
	○	百貨店（販売促進）	・高齢者のワクチン接種が進み、購買意欲が増してくると思われる。
	○	コンビニ（店長）	・外食から中食へと需要がシフトしており、当店の売上高と乗客数は回復すると予想している。
	○	乗用車販売業（営業担当）	・新型コロナウイルス次第であるが、5月よりは良くなると思う。
	○	乗用車販売店（役員）	・ワクチン接種が進むにつれ、景気は回復してくると考えている。
	○	その他専門店〔酒〕（経営者）	・飲料もビールも今よりは販売数が伸びると思うので、売上も増加することが予想される。
	○	一般レストラン（経営者）	・今が底であってほしいと思う。
	○	通信会社（社員）	・緊急事態宣言が解除されれば、訪問営業等を再開することができ、売上の回復が期待できる。
	○	観光遊園地（職員）	・当地域では6月より警戒レベルが引き下げられる見込みであり、国の旅行商品や宿泊サービスに対する割引等の支援事業が始まれば、景気回復に少し期待が持てる。
	○	競輪競馬（マネージャー）	・ワクチン接種が進み安心感が浸透してくると、消費活動も活発化すると思われるため、サービス業や飲食業、交遊施設の状況も回復に向かう。
	□	商店街（代表者）	・現時点では新型コロナウイルスのワクチン接種がスムーズに進行しているようには感じられず、景気回復については不透明な状況が継続する。東京オリンピックの開催等により、回復に向かっていることを期待している。
	□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染状況が収まりかけたと思ったら、また悪化するという状態が何回も続いている。この状況下では、経営者がマインドを維持することは難しく、また、消費者もかなり疲弊している。消費活動が活発化するまでには程遠く、しばらくは厳しい状況が続くと予想する。
	□	商店街（事務局長）	・ワクチン接種がどの程度進んでいるかが鍵になるが、集団免疫を獲得できるのは9月後半以降であると予想する。まだしばらくは安心して社会や経済を回すことはできない。
	□	一般小売店〔文具店〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、依然として商店街の人出は減少傾向にある。当面のところ好転の兆しは期待できず、歯を食いしばって頑張るしかない状況である。
	□	一般小売店〔生花〕（経営者）	・当地域では、来月から自粛期間が終了するため、飲食店の営業再開による景気回復を期待している。
	□	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染再拡大の状況次第であり、先行きの予測が難しい。
	□	コンビニ（総務）	・高齢者向けのワクチン接種が完了し、経済が徐々に回りだすタイミングとなれば少しずつ良くなっていくと思う。
	□	コンビニ（商品担当）	・ワクチン接種の見通しが不透明である。
□	衣料品専門店（営業責任者）	・ワクチン接種が進まない限り来街客が戻らず、集客もしづらいため厳しい状況が続くと考えている。	
□	家電量販店（店員）	・買換え需要の先食いをした状態であるため、しばらく落ち着くと思われる。	
□	家電量販店（副店長）	・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等の解除や、ワクチン接種が完了しなければ、回復は期待できない。	
□	乗用車販売店（従業員）	・コロナ禍の影響で自動車部品の供給が不足しており、良くなる要素がない。	

	乗用車販売店（従業員）	・高齢者のワクチン予約が7月後半になったとの話を聞くと、一般接種の終了時期は予想できなくなった。景気の回復はまだまだ先になると思う。	
	その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・新型コロナウイルスの収束が見通せない限り、消費動向は上向かない。また、見通せたとしても元の水準まで回復することは望めない。	
	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの収束か、国民の我慢の限界か、どちらかにならない限り客足の回復と景気の上昇は見込めない。	
	観光型旅館（経営者）	・当地域は新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いており、僅かに景気が持ち直しているが、平時には程遠い状態である。全国的に感染状況が改善しなければ、景気は回復に向かわない。また、インバウンドについては更に先になると予想する。	
	旅行代理店（営業担当）	・ワクチン接種の進捗状況によるが、現段階では極端に良くなる要因はなく、客の動きも活発化する雰囲気は感じられない。	
	タクシー運転手	・当地域は新型コロナウイルスの新規感染者数が増加傾向にあり、現在の状況が収束しなければ、人が動かさず厳しい状況が続くと考える。	
	通信会社（営業部長）	・コロナ禍の過ごし方が、ある程度定着してきていると感じる。	
	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染再拡大の影響で、ワクチン接種が進むまで客の行動範囲は限られると思う。	
	美容室（経営者）	・今後の見通しが立たない。お盆の時期は、県外の客が動くかどうかで忙しさが変わってくる。	
	商店街（代表者）	・鉄道や県外資本を核とした駅前中心の商業地の業況は大幅に悪化した。一方で、県内資本を活用した旧来の商店街への見直しが徐々に進みつつあると感じている。	
	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響で金が回っていないように感じるため、いずれ食品業界にもその影響が及ぶと思う。	
	スーパー（財務担当）	・新型コロナウイルスの収束により、再び需要が外食へシフトすることが予想される。	
	衣料品専門店（経営者）	・当地域では新型コロナウイルスの新規感染者数は減少傾向にあり、明るいムードに変化しつつあるように感じる。しかし、全国的にはまだまだ厳しい状態が続くのではないかと心配している。	
	都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの収束がいつになるのかということが極めて重要であると考えている。現在のワクチンの接種状況を踏まえると、早急に改善されることはないと思う。	
	通信会社（支店長）	・新型コロナウイルスの感染再拡大が継続している。	
	美容室（経営者）	・依然として今後の見通しが立たない。	
	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・今後、時短営業が解除されたとしても、新型コロナウイルス感染防止のため、客の外出控えが予想される。	
	コンビニ（店長）	・ワクチン接種が進んでいる様子もなく、現状では悪化の要因は少ない状況である。	
	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルス感染が早く収束しなければ経済は動かないと思う。	
	設計事務所（所長）	・公共事業の入札において、競合相手が低価格での入札によって取りに来るといった状況が発生している。	
企業 動向 関連 (四国)	◎	—	—
	○	食料品製造業（経営者）	・緊急事態宣言が解除されれば、徐々に回復に向かうと推測する。
	○	木材木製品製造業（営業部長）	・ウッドショックの影響が懸念されるが、大手ハウスメーカーの住宅契約棟数が増加しているため、今後の景気回復を期待している。
	○	一般機械器具製造業（経理担当）	・依然として厳しい状況であるが、一部地域では政府による経済対策としてのインフラ投資や再生可能エネルギー関連プロジェクトが行われており、客の投資マインドに回復の動きがみられる。
	○	輸送業（経理）	・国内向けの輸送量は低調に推移すると思われるが、大口客の海外向け輸送量は引き続き増加傾向にある。
	○	税理士事務所	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、経済が安定すると予想する。

		農林水産業（職員）	・業務需要が動かないと青果物の価格の動きも鈍くなるため、新型コロナウイルスの感染が一定程度収まるまでは厳しい状態が続く。ワクチン接種が進まない限り、回復の見通しは付かない。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・新型コロナウイルスの影響で除菌や清掃意識が高まり、ウェットクリーナーの需要はあるが、供給が需要より大きいため売上がさほど伸びていない。一方、家庭での料理機会の増加等でキッチンペーパーの注文数が多い。
		化学工業（所長）	・新型コロナウイルスの影響が大きい。ワクチン接種が始まったが、状況が改善するまでには時間を要すると思われる。
		鉄鋼業（総務部長）	・1～4月における当社取引先の造船関連の新規受注は好調であったが、当社への受注に反映されるのは最低6か月以上先となる見込みである。
		電気機械器具製造業（経理）	・コロナ禍の特需による販売が落ち着いてきている。
		建設業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第である。ワクチン接種が進んでいないため、数か月先も景況感は回復しないと推測する。一方で、公共事業の発注状況は好転しており、事業経営的には堅調を維持できると考える。
		建設業（経営者）	・民間部門の受注状況が少し悪いと、公共事業の受注次第である。
		輸送業（経営者）	・ワクチン接種に期待しているが、進捗状況が悪いと感じる。
		通信業（企画・売上管理）	・東京オリンピックがなくなれば、景気は一時的に低迷する可能性があるが、それを考慮しなければ3か月先までは同じ水準で推移すると推測する。
		金融業（副支店長）	・ワクチン接種が進み、新型コロナウイルスの収束が見通せない限り、消費者動向の改善や景気回復は難しい。
		広告代理店（経営者）	・ワクチン接種が遅れていることから、客はイベントや販促広告について慎重であり、景気回復は2～3か月後よりも少し先の予想である。
		繊維工業（経営者）	・2度目のワクチン接種が半分以上進んだ段階になれば、人の往来が増え、景気の回復が見込まれるが、それまでは現在の厳しい状況が続くと思う。
		輸送業（営業）	・東京オリンピックの開催による交通規制や移動制限が物流業界に及ぼす影響は計り知れず、取扱物量の増減についての見通しは極めて不透明である。仮に無観客開催となれば取扱物量の減少は必至であるとみている。
		×	—
雇用 関連 (四国)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（営業）	・このまま新型コロナウイルスが収束に向かい、東京オリンピックの開催が決定されると、飲食業や観光業へのニーズが高まることが予想される。ワクチンの打ち手不足は大きな問題だが、接種が進むことによって今後の景気は好転していくと思われる。
	○	民間職業紹介機関（所長）	・ワクチン接種が順調に進み、東京オリンピックを開催することができれば景気は回復すると思われる。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・コロナ禍により景況感是不透明である。
	□	職業安定所（求人開発）	・当地域はまん延防止等重点措置が解除されたが、感染対策期として引き続き警戒態勢がとられている。今後の見通しは不透明であり、ワクチン接種の進捗状況により景気が左右されると思われるため、状況は変わらないと考える。
	□	学校〔大学〕（就業担当）	・3月からの求人数の推移をみると、コロナ禍以前の状況には程遠く、今後の見通しについては不透明である。
	▲	求人情報誌（営業）	・観光業や飲食業、サービス業においては大きな打撃を受けており、今のところ回復の見込みが立っていない。店舗の閉店や破産、倒産による貸倒れ損失も出てきており、景気は悪化すると判断する。大きな影響を受けていない製造関係の業種においては横ばいのまま推移すると考える。
	▲	求人情報誌製作会社（従業員）	・異動時期が終わり、求人数の減少が予想される。
	×	人材派遣会社（営業担当）	・東京オリンピック開催後の新型コロナウイルスの影響を懸念している。

	×	新聞社 [求人広告] (担当者)	・当地域の新型コロナウイルスの感染状況が急に悪化しており、更に厳しい状況になることが予想される。
--	---	------------------	--